

〈D社〉

| | | | |
|------|--------------|----------|------------|
| 許可業種 | 建設業、砕石業、ホテル業 | 売上高(完工高) | 497,000 千円 |
| 資本金 | 10,000 千円 | 従業員数 | 27 人 |

【進捗度】支援前の段階：○ 支援後の段階：●

| 未検討又は重要性理解の段階 | 現状把握の段階 | 後継者・承継方法確定の段階 | 事業承継計画策定の段階 | 具体的対策実行の段階 |
|---------------|---------|---------------|-------------|------------|
| | | | | ○ → ● |

1 支援の前

| | |
|----------|--|
| 事業承継の背景 | <ul style="list-style-type: none"> ・株式承継の早期検討 ・事業承継を前提とした設備投資の早期検討 |
| 後継者 | 実子(長男) |
| 交代予定 | 1年前に社長交代済み |
| 支援に対する期待 | <ul style="list-style-type: none"> ・株式承継の時期や方法 ・設備投資のアドバイス |

2 支援の概要・今後の展開

| | |
|---------------|--|
| 担当専門家 | 犬飼あゆみ氏(中小企業診断士) |
| 主な支援内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・親族間議論の実施 ・株価評価の実施 ・株式移転時期の決定(2020年6月) ・設備投資計画の策定 →新規融資の獲得 |
| 後継者 | 実子 (長男が1年前に社長就任) |
| 他の専門家等との連携・協力 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務専門家や税理士と連携(株価評価、財務シミュレーション等) ・メインバンクのサポート(設備資金の新規融資) |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般的には、親族間で話し合いができていないことが多い。 ・今回、新社長は個人保証を引き受けたが、後継者が個人保証を嫌うケースは往々にしてある。 |
| 対応策・今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継について親族内で議論することは難しく、今回の「事業継続支援事業」のような公的支援によるきっかけ作りは有意義である。 |

3 支援を振り返って～担当専門家から一言～

－支援で大変だったこと、うまくいった点・うまくいかなかった点、これだけでも早く実施しておけばよかった点など－

今回の支援は、社長交代後も、先代の社長が保有していた株式について、その移転の時期や方法を具体的に議論できたことが有意義であった。それは、このような支援事業をきっかけに、親族間だけでは行いづらい議論をスタートできたこと、顧問税理士や金融機関等も巻き込んだ支援体制を構築できたことが大きかった。そして何よりも、社長交代の前後から、現社長が先代や関係先等から信頼を勝ち得てきたことが非常に大きかった。

本事業での支援は、同社の事業承継における後半の一部分にすぎず、事業承継の全体としては数年間のタイムラインを要した。事業承継には相当の時間がかかるため、早めのスタートが重要であることを改めて感じた。